

女人の祈り

匠 瑤 探 訪

187

栢田(栄地区)は市の南西に位置し、大布川(河口付近を除く)を挟んで横芝光町に接しています。栢田には240年ほど続いているとされる千葉県指定無形民俗文化財の「仁組獅子舞」が毎年1月に行われることも知られています。

栢田の稻荷神社拝殿に飾られた奉納額を拜見してきました。1枚は慶応2(1866)年3月に奉



栢田の稻荷神社

納されたもので、墨で書かれた額正面の文字がすれ判読が難しいものの栢田村の伊藤、江波戸、大木、加瀬、栗芝、小島、平山姓など20人の名前と神官とみられる伊橋姓が読み取れます。上部に「奉納 御神楽」とあり、右端に「(不明な部分に)御祓成就」とあることから、この神社に数多くの神楽が奉納されたことを記念し、掲げられたのでしよう。

拝見の際に立ち会っていただいた神社関係者は、神楽が行われていたということは聞いていないとのことでした。あとの1枚は、縦51cm、横79cmほどの奉納額(絵馬)で、案内人先頭に着飾った17人ほどの女性たちがお参りする様子が描かれています。

彩色されているものの全体的に黒ずみ、はっきりと確認できませんが、絵の上部に信仰している、あるいはお参りする寺院か神社が浮かぶようにも見えます。

当時、女性たちが着飾って有名な社寺をお参りすることはかなわなかったでしょうから、この絵馬には「女人の祈り」が込められているように感じました。左下部分に女性14人と男性2人の名前があり、年代を知る手掛かりになるかも知れません。

栢田村の1845年の戸数は168軒で、2枚の額に名前がある人たちは、その一部の家の人たちなのでしよう。

絵や文字が薄く紙面で紹介できないのは残念ですが、栢田村の人たちが今に続く「仁組獅子舞」に寄せる信仰心をこの額から感じ取ることができました。

(市文化財審議会委員・

依知川雅一)

問 秘書課広報広聴班

☎ 73・0080